

前山小学校4年生包括的性教育講座 「からだのこと・心のこと・性のこと」～みんなちがってみんないい～

【 講師紹介 】永井 理恵子

助産師として、これまで産婦人科や母子保健の環境で、妊娠・出産・子育て・思春期相談そして性にまつわる様々な相談に関わってきました

現在は市役所で母子保健に関わりながら、学校で性教育の講師をしています。

「自分のからだは自分のもの」子どもたちが自分も相手も大切にできるよう、心を込めてお伝えしています。

■講座の目的

この講座は、性行為を教えるものではなく、

子どもが自分の体と心を大切にし、安心して人と関わるための“人権と健康の教育”です。

子どもが自分の気持ちに気づき、「イヤ」と言える力、安心できる人に相談できる力を育てます。

■講座で扱う内容

●からだの名前 性器の役割

正しい名称を知ることは、子どもの安全につながります。模型を使い、性器の洗い方を伝えます。

●いのちの始まり

卵子・精子・受精のしくみや、性交（セックス） 体外受精など命の始まりを科学的に説明します。

お腹の中の胎児の成長や出産方法などを模型を使いわかりやすく説明します。

●いろいろな家族

片親や同性のカップル、里親など家族の形はいろいろあります。どれも大切な家族です。

●プライベートパーツ セルフプレジャー

自分だけが見たり触ったりできる自分だけのものです。

●境界線（バウンダリー）

境界線を自分のからだと心を守るための透明バリアに例えて説明します。

「ここまでは大丈夫」「ここからは嫌」という、自分の心と体の感覚を大切にする学びです。

●心の信号機 体験ワーク

安心＝青 ちょっと不安＝黄 イヤ・怖い＝赤 体験ワークを通して、自分の気持ちを考えます。

心の信号機はみんな違っていい。大切なことは、自分の信号機にも、友達の信号機にも気づく事です

■講座で大切にしていること

子どもの感じ方はどれも正しい

恥ずかしい気持ちも自然なこと

イヤと言ってよい

相談してよい

相手の気持ちも大切にする

子どもが安心して学べる環境づくり

この講座は、子どもが自分を大切にし、安心できる関係を築くための力を育てることを目的としています。

児童の講座が終わってから保護向けのお話し会（15分）も用意しています。お時間のある方はぜひご参加ください。

当日の飛び入り参加も歓迎しますが、おおよその人数を把握したいため参加を希望される方は出席の確認をする簡単なアンケートにご回答ください。

当日 体調不良などで欠席される場合のご連絡は不要です。

QRコードを触るとアンケートが開きます。

開けない場合はスマートフォン等でQRコードを読み取ってください。

